



# 開会あいさつ(概要)

中央執行委員長 真島勝重



今、政治情勢、経済情勢、港湾春闘を含めて多くの課題が山積している。その中で、私たち全港湾がしっかりと方針を確立して、全員が同じ錦の中で運動を続けていかなければならない時代だと思っ

ている。全港湾は特に大衆討議、職場討議を基本とするな

かの方針をより強固なものにしていくというところで七〇数年進めてきた。各地方あるいは支部の大会でいろいろな意見が出されたと思っ

ている。それらの意見を結集しながら二〇一八・一九年運動方針を更なる補強で確立していき

たい。政治は皆さんご承知の通り、安倍政権は、いわゆる国民弱者あるいは中小企業に対して、今日までなんの対策も打っていない。景気がいいとい

いながら暮らしは全然よくなっていない、これが実態であると思う。一方では大企業の

法人税を優遇する、あるいはお金持ち優遇政策をとり続ける、まさに二極化がどんどん加速している。私が小さい頃は、一億総中流社会と言われ、となりの長屋も貧乏人ばかりであったが、それでもまだ楽しい時代であったと記憶している。今の日本は世界で

三番目の経済大国と言われている。確かに、経済は世界で三番目かもしれないが、実態統計を見れば、今七人に一人が貧困層と言われている。一人親世帯では半数以上の方々が貧困に苦しんでいる社会になっている。

四月から働き方改革が実施されたが、働き方はよくなったでしょうか？全然にも変わっていませんね。いわゆる同一労働同一賃金という名の統計データを見てみると、半年間で働き方がよくなっ

たという話は、全港湾の場合は労働基準法以上の協定を結びながらやっているのだから、暮らしがよくなっているという話はきかない。バブルが崩壊して、その後二〇一五年のデータを見ると、今日日本人一人あたりの可処分所得は、平均で二四五万円のこと。そしてこの平均値の半分以下の方が貧困層とよばれている。一九九七年の統計から実に平均値で五〇万円以上も下がっている。これは、新自由主義によるところの格差社会の拡大、一部の大金持ちと貧困層とに別れ中流層がいなくなったことによる平均値が下がっていると思っ

ている。そして低所得層がどんどん増え続けている。

さらに今、労働力不足を理由にしてAI化が加速している。いわゆる機械化・自動化への加速が進んでいる。これからは進んでいくと、残念ながら進んでいくと、残念ながら言われている。銀行や生命保険会社、一部の自治体ではデータ処理なども自動化になっている。そうした中で自動処理への置き換えが分らない間にどんどん進んで来ている。着眼すべきことは、これらの自動化によって正規職員はそう影響は受けなくても、非正規で雇用され今まで働いてきた方々がどんどん切り捨てられている。私

ち労働組合として、こうした格差社会がこれ以上拡大しないように監視していかなければならない。

さて、来月からは消費税が一〇%にあがる。軽減税率で

外食したら云々、キャッシュバック云々があるとかないとか、よく分からない状況となっている。一年前のデータではあるが、中小企業においては、具体的対策が打っていないところがある。六割以上と

なっていた。そうであれば対応が遅れた分、非常に混乱しないかと思う。

消費税は高額所得者であり低所得者であり買物をするというところ。所得が一〇〇万円の人が一〇〇円の買物をして二四五万円の人が一〇〇円の買物をして同じ税金を取り出すという話。さらに中小企業は価格に転嫁できないという弱みもある。

今、国内の景気は悪化している。今年度の一月から三月の消費者指数はマイナスで消費は落ち込んでいた。十月以降は景気がどん底まで落ち込むことも予想されている。過去に三回、消費税三%、五%、八%と引き上げられてきたが、三%の時元の景気に戻るまで半年かかっていた。五%になった時は六年かかった。八%の時も三年半くらいかかっていた。今回引き上げられると景気が戻るまで数年はかかると思われる。今後の老後の年金二〇〇万円不足するとの話もあった。今の政治は私たち国民の方を全く

向いていない。一部の既得権益者の利益しか守っていない。定年も六五歳から七〇歳へと、年金も七〇歳から七五歳などと言いつつ、それで働き方改革などと言っている。将来に希望の持てる社会でなければならぬであろう。

また、沖縄での辺野古の問題、新基地建設問題がある。隣の国々とは話し合いをしよ

うとせず、アメリカ一辺倒を貫いている政治状況。原発事故の検証もきちんとされず

に再稼働もおこなわれている。

かつては自民党の中にもハト派と呼ばれる方々がいて、平和主義、戦争はダメだという方々もいたと覚えている。しかし、安倍一強体制になってからは物言う与党議員が全くなくなった。この日本をよくするには安倍政権を引きずり下ろすしか道はないであろう。

## 新たに8分会が全港湾の仲間

2018年度、全港湾に新しく8分会の仲間が加入した。大会当日は、都合により参加できなかった分会もあったが、船通分会の小松田一彦さん、新興海運分会の金正基さん、さくらタクシー分会の片山岳二さん、サヌキ松谷分会の園原悠平さんが登壇し分会旗を受け取った。登壇した方々からは「全港湾に入るまでは夜通し働いてきたが有給もなかった。委員長に惚れた！全港湾の歴史を継承し、一致団結してたたかっていたい」等々の発言があり、会場から大きな拍手を受けていた。

また、船通分会の小松田さんからは「組合に入る前は労働条件も悪い中で、正当な理由もなく一方的に通勤手当や家族手当の減額、最終的には基本給が2割カット、それに対して個々で反論すると賞与も他の従業員より2割減額され、都合の悪い事は何の説明もなく書面に残さず逃げられていた。そんな会社のやり方にどうする事も出来なかった。団結という二文字には大きな力がある事を感じた。一致団結し労働条件の改善、生活の安定に取り組んでいきたい」とのコメントが編集部へ寄せられた。



東北地方秋田支部船通分会	35名	トラック
関東地方横浜支部新興海運分会	26名	船内
関西地方大阪支部協和化工分会	9名	製造業
関西地方大阪支部リクスラスト分会	1名	その他
関西地方大阪支部さくらタクシー分会	30名	タクシー
関西地方大阪支部東鉄運輸分会	15名	トラック
関西地方大阪支部樽本機工分会	5名	場内
四国地方香川県支部サヌキ松谷分会	5名	製造業
計8分会	126名	

# 退任のあいさつ

前特別中央執行委員  
前全国港湾委員長代行

松本耕三



一九七三年十月に加盟して  
から四六年間、全港湾の組合  
員としてたたかえたことを誇  
りに思っています。  
全港湾の運動を振り返ると、  
二つ、特徴的な思いがありま  
す。第一に港湾産別運動の中  
で、全港湾が中心的な役割を  
果たしてきたことです。これ  
は、休みもなく長時間労働、

危険な職場で働かされ、過酷  
な労働条件だった港湾労働、  
その労働条件改善のための政  
策要求が出發でした。「共同  
雇用制度の実現」、「魅力ある  
港湾労働の確立」を合言葉  
に、コンテナ荷役導入に対し  
て日港協と団交権の確立、全  
国港湾の結成から今日に至る  
まで、産別雇用保障制度のた  
たかいを展開しました。  
第二には、全港湾が、規約  
の個人加盟により企業内運動  
の限界を克服し、たたかう労  
働運動の中心を担ってきたこ  
とです。多くの労働組合が企  
業の言いなりになっていく中  
で、全港湾のたたかいは、抜  
群の存在感でした。たたかう  
労働運動の結果を語りつつ、  
反戦平和や人権擁護、脱原発  
のたたかいの先頭に立ってき  
ました。全港湾のたたかう姿  
勢は、私の人生におおきな活  
力と明確な道しるべを与えて  
くれました。多くの仲間の支  
えの中でのたたかいは、なか  
なか結果につながらなかった  
けれど、結構楽しかったで  
す。むしろ、まわりには迷惑  
をかけてばかりだったかもし  
れませんが、わたしは、これか  
らも地域の労働運動の手伝い  
はもとより、反戦平和、脱原  
発、そして反動政治とのたた  
かいを続けていきます。全港  
湾運動を継承するみなさん  
と、多くのたたかいは、場  
緒になると思いますがよろし  
くお願いします。

## 在籍三〇年表彰を受けて

東北地方塩竈支部 長南安典



次期の会社は労働組合組織さ  
れているところと決め就活。  
二四歳の時に全港湾に加入し  
三〇年、最初に塩竈分会青年  
婦人部の活動をし今日まで全  
港湾方針のもと、組合運動に  
参加取組んできました。

解決するまで何年かかるか分  
かりませんが、この問題が解  
決するまで組合運動として取  
組むしかありません。今後も  
皆さまのご指導ご協力の程、  
宜しくお願い致します。

組合員の皆さん日々の組合  
運動の取組みご苦労様です。  
この度、九〇回定期全国大会  
にて組合員在籍三〇年表彰で  
一六〇名の総代として頂きま  
した東北地方塩竈支部塩竈分  
会の長南です。  
全港湾加入前、高卒で民間  
企業に就職し四年の間に何回  
か企業と個人賃金交渉してい  
たころ、国労出の方が来られ  
労働組合の話をするうちに、

そんな中、二〇一一年三月  
十一日東日本大震災が起き、  
東北太平洋側で沿岸地域に住  
む住民や企業は甚大な損害を  
受けましたが、全国の皆様よ  
り多大なるご支援を賜り、復  
旧復興することができました。  
心より感謝申し上げます。し  
かしながら福島原発事故での  
原発廃炉・訴訟問題・子供た  
ちの甲状腺がん、これから



## 全港湾第90回定期全国大会議長団



竹森代議員 (左)、宇野代議員 (右)

## 全国港湾第一二回定期全国大会 産別最賃問題は中労委へ救済申請の方向



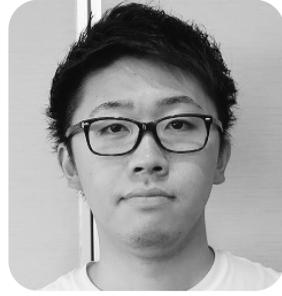
全国港湾は、九月十八日、  
十九日、第二回定期大会を  
開催した。大会にはオプザー  
バーを含めて二八九名が出  
席した。来賓には港運同盟、  
ITF東京事務所、こくみん  
共済が出席、大会議長団は石  
渡代議員(検数労連)と川崎  
代議員(大港労組)が務めた。  
役員については松本中央執  
行委員長代行(全港湾)、柳  
野中執(全倉連)、瀬川中執  
(全倉連)、山田中執(全日  
通)、高野中執(全日通)の五  
名が退任、新執行部について  
は糸谷中央執行委員長(日港  
労連)、柏木中央執行委員長代  
行(日港労連)、真島副委員  
長(全港湾)、竹内副委員長  
(日港労連)、遠藤副委員長  
(検数労連)、瀬戸副委員長  
(検数労連)、玉田書記長(全  
国港湾)、市川書記次長(検  
定労連)の体制となった。  
大会においては様々な課題  
についての議論が熱心におこ  
なわれた。懸案となっていた産  
別最賃回答拒否の問題につい  
ては、産別交渉を維持できるよ  
う様々な手を尽くしてきたが、  
中央労働委員会でのあっせん  
が不調に終わったことから今  
後の方向が注目となっていた  
が、まずは中央労働委員会に不  
当労働行為救済申請をおこな  
い、再度、中央労働委員会の判  
断を仰いでいく方向性を確認  
した。執行部は大会終了次第、

救済申請の準備に入ってい  
たいとした。また、全国港湾の  
規約改正問題については、連  
合体にふさわしいより民主的  
な運営が可能となるよう、代  
議員数の見直しも検討しなが  
ら、次の大会では承認できる  
よう努力していくとした。R  
TG遠隔操作化などの機械化  
・自動化問題については、労  
働者の雇用・職域が脅かされ  
る、体制的合理化と捉えらる  
と断固反対していくとした。  
そして、職場から現場から  
労働条件の改善を訴え、地域  
の問題を全国の問題として、  
受け止めながら、業界を包  
囲し、改善を求めて団結し、  
運動に取り組んでいくとした。  
二〇一九秋年末闘争につい  
ては、秋の中央行動を十一月  
十四日、十五日に予定、二〇  
春闘については、中央委員会  
を二月五日、六日に開催し、  
春闘方針を決定、二月十九日  
に第一回中央港湾団交を予定  
したいとした。  
そして大会討議の結果、  
「二〇一八年度の主な取り組  
み経過(案)」、「二〇一九年  
度運動方針(案)」、「産別ス  
トライキ権の確立について  
(案)」、「全国港湾規約の改  
正及び『規約・綱領・規定  
(規程) 改定案』の取り扱い  
について(案)」、「決算算  
(案)」、「二〇一九年秋末  
における具体的活動方針につ  
いて(案)」等すべての議案  
を可決、二〇一九年度運動方  
針を確立した。そして、最後  
に大会宣言を採択し大会を終  
えた。(片柳悦正)

# 大会参加者の声

## 北海道地方釧路支部

### 川奈部若之



できるかとても重要であると感じました。

私は今回の第九〇回定期全国大会が初めての参加となりました。二日間にわたる本大会では、各地方の現状や問題点が活発に議論されており、その中でも来年の東京オリンピック・パラリンピック開催期間中の運送会社に関する交通渋滞等の問題点や女性トラック運転手が増えている現状で待機中にトイレが無いといった問題点などが特に印象に残っております。私の働いている会社にも女性職員がおりますが、働く女性が増えている一方で、いかに女性が働きやすい環境を整備することが皆さん二日間お疲れ様でした。

## 東北地方小名浜支部

### 田久祐一郎



全港湾組合員の皆さまお疲れさまです。東北地方小名浜支部の田久です。

第九〇回定期全国大会に初めて参加させていただきました。どんな議論、討論になるのか興味津々でした。各地本

から様々な質疑や意見が出され、それに対する中央本部による答弁を聞き、内容が理解できない事もありメモを取ることに必死でした。

一九産別春闘の全国港湾のストライキの在り方について多くの意見が出され、中でも「産別賃金を守る春闘ではないのか?」「産別運動について全港湾はどこへ向かっているのか?」「地方港にとっては何のために行ったのか結果が見えないストライキだった」など、厳しい意見もあり、地方港で働く自分にとっても色々考えさせられました。

また、大会中に東北地方青年部から被災地状況についての説明があり、写真の資料を見ながら現在の福島について話を聞きました。避難者への補償の打ち切りや、帰還困難区域について話があり、原発事故問題についてもさらに考えていきたいと感じました。

最後に、全国大会に参加し、各港を取り巻く情勢を知ることができ貴重な経験になりました。改めて全港湾の組合員の仲間と深い絆で繋がっている事を感じました。

## 日本海地方七尾支部

### 小林創史



れ、活発な質疑・討論が行われました。特に第一議題では一九産別・二〇春闘に向けて「どう闘うのか」などとても勉強になりました。

他にも東北地方青年部からフクシマ連帯キャラバンの報告もありました。改めてとても大事な運動だと思えました。私の住んでいる石川県七尾市に隣接する志賀町にも原子力発電所があります。福島

第九〇回定期全国大会に初めて参加させていただきました。全国的な問題や各地方・支部での問題など、色々な意見が出さ

県の現状を聞き、本当に恐ろしく、とても他人事とは思えません。これから生きる子供達の為に残してはいけない問題だと改めて思いました。そのためには安倍政権を打倒しないといけないと思いま

す。一般の組合員の皆さんにどう伝えていくか、次世代の全港湾を担う若者を育てるのも私たちの責務であると思いま

す。最後にありますが議長団をはじめ、今定期大会の準備、

## 関東地方横浜支部

### 金正基



頭張っていきたくらいと思います。

したのは、一概に会社だけのせいとは言えません。無知からきたとはいえ、我々労働者

があまりにも、無関心だったのも要因のひとつといえます。これは私達だけでなく、名古屋港の労働者大半が、そんな風潮だと感じております。

関東地方横浜支部、新興海運分会で分会長をやっております。金正基と申します。私

達新興海運分会は、昨年十一月十五日に結成し、徐々にではありますが、確実に会社の対応が変わってきています。

分会結成前は、私達労働者新新興海運分会は、私を始めまだまだ未熟で、今は自分達の手一杯ですが、これから

は色々な事を学び、まずは自社を改善し、ゆくゆくは私達

の様に悪質な労働環境で、苦しんでいる人達を助けられる様な分会を目指しております。

さらには翌日朝から出勤など、そんな状態が続いておりました。もちろん有休などなく、休暇願いや出せば、上司から嫌味や時には暴言を吐かれる事も多々ありました。ただ会社がこうなってしまう

## 東海地方衣浦支部

### 畠中商博



るほどに共感出来ました。

まず、国内の政治問題、安倍政権下で国民不在の戦争法案、憲法改悪、消費税増税等、真島委員長いわれた「声を出さない民は滅びる」という言葉に声を上げていかなければと思えました。

第九〇回定期全国大会に参加された皆様大変お疲れ様でした。大会前には台風が関東地方を直撃し、コンテナが倒れるなど被害がある中の参加、大変だったと思います。

私は今回が二回目の参加ですが、初参加の時には参加者の多さに驚くばかりで議論の内容もあまり理解できませんでした。二回目の参加となった今回は、質疑、討論に熱を感じる仲間が一緒だと心強くなりました。

## 東海地方名古屋支部

### 羽賀達也



支部、全検分会にこの場を借りてお礼申し上げます。

今年の一九春闘は全国港湾で平日に二四時間ストライキを行ったこともあり、大会議論の中でとても多くの議論が各地方から出されました。大会議論の中で、神戸港PCR一八のスト破りにかんする議論は大変共感を覚えました。

その他に、港湾自動化・海上コンテナ洗浄問題など、今後の港湾の労働環境を取り巻く問題提起が数多く出され、議論も白熱していましたが、その中でも東北地方青年部の

私を送り出して頂いた名古屋

りました。夜の懇親会ではこの大会に出席しなければ会うこともできなかった方々といろんな話をさせて頂き自分の支部との違いや、人材確保など共通の問題に同じように苦慮されていることを知って共に全港湾の仲間として今後の活動の仕方について役に立つ話をさせて頂きました。支部に帰ったら自分たちは全港湾の一員だと実感できる活動をしていきたいと思えます。最後になりましたが、議長団をはじめ今定期大会の準備、運営に携わって頂いたみなさま大変お疲れ様でした。今大会で得た情報やみなさんの全港湾を想う熱い気持ちや支部を持ち帰り今後も組合活動に頑張っていきたいと思えます。

脱原発に向けた問題提起と現状の報告には同じ青年部として感銘を受けました。

今年のフクシマ連帯キャラバンには名古屋支部から通し分参加ではありますが参加させて頂きましたので、自分の事のように思ふ不思議な感覚になりました。

私は全港湾の定期大会に参加するのは今回が初めてで、大会の人の多さに圧倒され、大会発言にかんしても現場闘争の基本がしっかりと示されているのを感じ、全港湾の組織に感心し、驚くばかりでした。

今回の経験を現場の組合員に広め、今後の組合活動に、

／生かされる様、頑張った。この場を借りてお礼を申動していただけたらと思います。最後に、今回大会に係わった運営の皆様、お疲れ様でした。

**関西地方神戸支部**



大会参加者全員で「港湾労働者の歌」を歌うことから始まり、参加者の積極的に参加する意志が歌声の大きさ・迫力から伝わってきました。

私は代議員として参加させていただきました。代議員として参加させていただき、代議員席に座って会場を見ていたが、議題討論では代議員から発言の手が直ぐに上がっていました。そして、発言が一人終われば、その発言について関連の発言を求める手が次々と上がるといふ白熱した討論が行われ、代議員の意識の高さと各地方で多くの問題を抱えていることが伝わってきました。

私は港湾労働者ではなく、路線バス運転士をしています。発言の中にあった六大陸と地方港間における賃金格差や、港における自動化問題、港湾労働者の職域を脅かす問題は、我々では民間と公営による賃金格差と似たところがあると感じましたし、バスですらすでに自動運転の社会実験が始まっています。ライドシ

**四国地方徳島支部**



エアなど二種免許が必要な業務を一般人でも行えるようにするという話もあり、他人事とは思えない問題が起きていくことに驚きました。

また、港湾に関しては全国規模を感じる議論でしたが、我々バスに関しては私鉄総連に加盟している労働者が多く、まだまだ全港湾としての組織を活かす所までは程遠いと感じました。代議員としてバス業界のことを今回発言させていただきましたが、まずはバス業界の事を皆さんに知ってもらおうという次の目標が見えました。

最後になりましたが、今大会の運営に携わった皆様ありがとうございました。



**山根承光**

また、私の出身分会である、徳島ハイウェイサービス分会は本四架橋が開通してからこれまでの間に、民営化やETC導入によって、委託料減額や人員削減が行われ、多くの仲間が職場から去ってしまいました。NEXCO西日本との合併や料金収受の自動化により、今回はさらに多くの人員削減が予測されます。これらの問題を特別代議員の立場であるにも関わらず、発言する機会をいただき、本当にありがとうございました。

八月二十四日に行われた、第四回全港湾徳島支部定期大会において副委員長を拝命し、元木委員長を支えていかねばならない立場であるにも関わらず、いまだ後ろをついて回っているだけの私ではありますが、今大会を通じて、全国で起こっている様々な問題について熱く議論する場を経験出来たことは、これから労働組合の活動をいくつうか、とても大きな経験となりました。

八月二十四日に行われた、第四回全港湾徳島支部定期大会において副委員長を拝命し、元木委員長を支えていかねばならない立場であるにも関わらず、いまだ後ろをついて回っているだけの私ではありますが、今大会を通じて、全国で起こっている様々な問題について熱く議論する場を経験出来たことは、これから労働組合の活動をいくつうか、とても大きな経験となりました。

最後になりましたが、懇親会等で貴重な時間をいただいた方々に、この場を借りてお礼申し上げます。



**九州地方関門支部**

**栗崎康幸**

第九十回定期全国大会に参加された皆様、大変お疲れ様でした。

私は今回初めて定期全国大会に参加させて頂き、全国から集まった総勢二三百名の想像を上回る熱い議論に驚き、

感動しました。各支部が抱える大きな問題や、未だに帰宅困難区域のある福島の現状の報告などもありました。あまり報道もされなくなりましたが、忘れてはいけない現実があることを確認しました。

質疑応答では、異例の長期に渡った一九春闘の事に集中しました。「二年ぶりの平日ストライキまで打って我々の掌には何が残ったのか?」「中央の指示により、ストを打つのはいいが、地方では、労使の良好な関係が崩れることもある。中央は地方港を見ているのか?」など厳しい意見も出されました。

それ以外にも、「中央方針である、AIターミナルや港湾作業の自動化反対の方針でも人手不足問題に直面している」との回答をいただきました。

**沖縄地方**



**宮里 爾**

組合活動について正直十分に理解出来ておりませんでしたが、そんな状態で、全国大会に参加しても大丈夫なのかという大きな不安を抱えての参加となりました。大会の規模の大きさ、大会参加者の活発な議論にただただ圧倒させられました。未だに収束していかない東日本大震災による原発事故問題や、遠隔操作RTG事業への支援制度問題など、とても大きな問題をより良い職場環境をつくる為に、熱意を持って討論している光景を

第九十回定期全国大会に参加された皆様、二日間大変お疲れ様でした。私は、琉球物流分会から今回初めて定期全国大会に参加させていただきました。私自身、組合員になってまだ間もないという事もあり、

目の当たりにし、すごく感銘を受けました。また、各地方支部の方々と交流する機会もあり、とても貴重な経験をさせていただきました。この経験を今後の組織に行きたいと思っております。最後になりましたが、今大会に

**定期全国大会のひとこま**



# 大会代議員の発言

大会において活発な質疑がおこなわれ、各地方の代議員方々より多くの意見が出されました。共同デスクでは、代議員からの発言をできる限り伝えて行こうと、紙面の限られたスペースではありますが、分担をおこない、発言を要約し掲載して行くつもりです。各地方から寄せられた報告をもとに、北海道、東北、日本海、関東、東海、関西、四国、九州の各地方からの発言を掲載します。

## 北海道

独禁法問題にどう挑むか

一九春闘における日港協の態度はいわゆる独禁法問題を解決に至るものではなかったが、二〇春闘を迎えるにあたって中央本部としてどのような態度で挑んでいくのか。春闘時の足並み統一を

同地区の同盟は毎春闘において全港湾と足並みが揃っているとは言えない。地区での問題だと捉えずに、中央同士でも協議をして然るべき対応を取らせてほしい。

事前協議違反のない体制に自衛隊車両輸送船の事前協議について、同船社配船の一船は事前協議を行ない、一船は事前協議を行わないまま入港・荷役を行っている。産別協定遵守の立場からは今後同船の事前協議体制を確立してほしい。

各代議員より、一九年春闘に関して多くの意見発言が出されていますので、私からは今春闘の検証と総括をして頂かないと、二〇年に於いて足並みが揃う事が出来ないと思えます。来春闘に於いて、本部分針の明確さと透明性を宜しくお願い致します。

## 東北

新規参入阻止の取り組み強化を 議案書にも載っているように、新規参入業者による事業免許限定解除の動きが昨年より活発になっています。港湾管理者に対して、使用申請

を提出しましたが現在では、内容差戻となっておりません。コンテナ取扱をする事によって貨物限定の拡張や限定解除を議論していると睨んでいま

出、運航船社の確認も取れていないため、許可には至ってませんが、秋田港の取扱量に変動もない中で業者が増える事により職域に及ぼす大きな影響を懸念しています。我々は港湾の秩序を担保しつつ組合員の安定した生活水準を維持する上でも、参入阻止の運動を行って参りますが、本部による事前協議制度の強化や協力をお願い致します。

ながら、中小零細企業としては導入施行前に厳しい判断を迫られて、全港湾分会脱退を余儀なくされている現状です。都市も地方もドライバー不足の問題をとらえた国土交通省への働き方やドライバーからの訴えと共に要請と運動強化をお願い致します。

作業には一基およそ四〇年以上の時間が掛かると言われています。帰還困難区域以外の避難も解除され帰還を促されています。ライフラインも不十分の中で固定資産税も課税対象となり、生活の不安も未だに拭いきれずに避難生活を送られています。国政による線量数値の引き上げにより低線量被ばく区域でも避難解除され補償の打ち切りも進んでいます。特に、未来ある子供達の生涯に渡る健康管理の支援策、偏見・差別・教育・社会教育の推進を求めて小名浜支部一〇〇名も加わり奮闘しています。第二の福島県を出さないために、皆様方のご理解とご協力をお願いします。

トトラック関連です。標準貨物自動車運送の約款が「平成二十九年十一月」施行され「平成三十年十二月」運送事業法が改正されました。注目は、国土交通大臣による標準運賃を定めた告示制度の導入であります。規制緩和と政策によって適正料金の收受や労働環境の確保が困難になりましたが、告示導入に関しては期待を寄せる思いです。然しながら、中小零細企業として返す事無く、命に尊厳、安全の大事さを再度周知して参ります。大会前にご家族と会話する機会があり、三歳の子が父の写真をみると突然泣き出す話を聞き、只々言葉がออกมาせんでした。残された家族には心のケアも考えています。

以上報告として、大変申し訳ございませんでした。

## 日本海

トトラックに関して、海コントトラックとトトラックを分けて、我々の考え方が言える場が出来た事で、各地方ごとの問題や課題が見え取り易くなり継続を願います。

トトラックの標準運賃告示制度に対する取り組み方

規制緩和の施行により崩れた環境を立て直す期待として、国交省が標準運賃告示制度を導入、定着させるためには本部の思考なる取り組み方、進め方をお聞かせ下さい。

関生弾圧問題の取り組みについて

関生の件、東北大会での発言で、取り組みに関しては全大会での決議決定となるため、大会での承認が必要となる内容からすると、取り組みは来年の大会まで持ち越しとなるのですか。

安全問題を周知徹底

東北の死亡災害について報告をさせて頂きます。去る八月十四日十二時五分頃、ターミナル内ストラドルキャリア横転事故により、当組合員の死亡事故が発生し全国の皆様にご心配をお掛けしました事に深くお詫び申し上げます。事故詳細はまだ調査

中ですが、悲惨な事故を繰り返す事無く、命に尊厳、安全の大事さを再度周知して参ります。大会前にご家族と会話する機会があり、三歳の子が父の写真をみると突然泣き出す話を聞き、只々言葉がออกมาせんでした。残された家族には心のケアも考えています。

以上報告として、大変申し訳ございませんでした。

## 東海名古屋

組織率は半数以上を占め、地方港も抱えています。もっと全港湾の主体性を反映させるために、全国港湾の規約をしっかりと整備し、全国港湾構成員の民主的運営を図る事が重要である。関西の中山さんの規約案を拝見しましたが、とても理にかなっていて素晴らしい物でした。この案を全港湾の案として全国港湾規約改正に臨むべきでは。役員選考委員会の在り方についても民主的に行う必要がある。

ホワイト物流推進について

人員不足・高齢化が進む中、ホワイト物流推進運動の取り組みが進められること（地震・津波・噴火）の付与は、トトラック業界が将来的に希望を持てる事になると思えますので、今後の運動の推進を拡大にご尽力頂きたい。

育児介護制度の取り組みについて

国の保障六七％では、正直生活は厳しいという話を聞かされたのか疑問を感じる。

未来に産別をいかにつなぐか

産別最賃問題（独禁法）問題は解決を見ず全港湾では今後の対応として中労委に対し「不当労働行為」或いは「団交は合法と認める裁判」に訴える、という二つの方法で進めると聞いている。日港協が産別最賃にこだわるなら、産別最賃を要求から外し、今後の春闘に臨めば日港協も正常な団交を阻害する理由は無くなる。未来に産別をいかにつなぐか、私たちの責務ではないか。全港湾から発信すべきである。

全国港湾規約について

全国港湾において全港湾の組織率は半数以上を占め、地方港も抱えています。もっと全港湾の主体性を反映させるために、全国港湾の規約をしっかりと整備し、全国港湾構成員の民主的運営を図る事が重要である。関西の中山さんの規約案を拝見しましたが、とても理にかなっていて素晴らしい物でした。この案を全港湾の案として全国港湾規約改正に臨むべきでは。役員選考委員会の在り方についても民主的に行う必要がある。

ホワイト物流推進について

人員不足・高齢化が進む中、ホワイト物流推進運動の取り組みが進められること（地震・津波・噴火）の付与は、トトラック業界が将来的に希望を持てる事になると思えますので、今後の運動の推進を拡大にご尽力頂きたい。

育児介護制度の取り組みについて

国の保障六七％では、正直生活は厳しいという話を聞かされたのか疑問を感じる。

未来に産別をいかにつなぐか

産別最賃問題（独禁法）問題は解決を見ず全港湾では今後の対応として中労委に対し「不当労働行為」或いは「団交は合法と認める裁判」に訴える、という二つの方法で進めると聞いている。日港協が産別最賃にこだわるなら、産別最賃を要求から外し、今後の春闘に臨めば日港協も正常な団交を阻害する理由は無くなる。未来に産別をいかにつなぐか、私たちの責務ではないか。全港湾から発信すべきである。

全国港湾規約について

全国港湾において全港湾の

組織率は半数以上を占め、地方港も抱えています。もっと全港湾の主体性を反映させるために、全国港湾の規約をしっかりと整備し、全国港湾構成員の民主的運営を図る事が重要である。関西の中山さんの規約案を拝見しましたが、とても理にかなっていて素晴らしい物でした。この案を全港湾の案として全国港湾規約改正に臨むべきでは。役員選考委員会の在り方についても民主的に行う必要がある。

ホワイト物流推進について

人員不足・高齢化が進む中、ホワイト物流推進運動の取り組みが進められること（地震・津波・噴火）の付与は、トトラック業界が将来的に希望を持てる事になると思えますので、今後の運動の推進を拡大にご尽力頂きたい。

育児介護制度の取り組みについて

国の保障六七％では、正直生活は厳しいという話を聞かされたのか疑問を感じる。

未来に産別をいかにつなぐか

産別最賃問題（独禁法）問題は解決を見ず全港湾では今後の対応として中労委に対し「不当労働行為」或いは「団交は合法と認める裁判」に訴える、という二つの方法で進めると聞いている。日港協が産別最賃にこだわるなら、産別最賃を要求から外し、今後の春闘に臨めば日港協も正常な団交を阻害する理由は無くなる。未来に産別をいかにつなぐか、私たちの責務ではないか。全港湾から発信すべきである。

全国港湾規約について

全国港湾において全港湾の

組織率は半数以上を占め、地方港も抱えています。もっと全港湾の主体性を反映させるために、全国港湾の規約をしっかりと整備し、全国港湾構成員の民主的運営を図る事が重要である。関西の中山さんの規約案を拝見しましたが、とても理にかなっていて素晴らしい物でした。この案を全港湾の案として全国港湾規約改正に臨むべきでは。役員選考委員会の在り方についても民主的に行う必要がある。

ホワイト物流推進について

人員不足・高齢化が進む中、ホワイト物流推進運動の取り組みが進められること（地震・津波・噴火）の付与は、トトラック業界が将来的に希望を持てる事になると思えますので、今後の運動の推進を拡大にご尽力頂きたい。

育児介護制度の取り組みについて

国の保障六七％では、正直生活は厳しいという話を聞かされたのか疑問を感じる。

未来に産別をいかにつなぐか

産別最賃問題（独禁法）問題は解決を見ず全港湾では今後の対応として中労委に対し「不当労働行為」或いは「団交は合法と認める裁判」に訴える、という二つの方法で進めると聞いている。日港協が産別最賃にこだわるなら、産別最賃を要求から外し、今後の春闘に臨めば日港協も正常な団交を阻害する理由は無くなる。未来に産別をいかにつなぐか、私たちの責務ではないか。全港湾から発信すべきである。

全国港湾規約について

全国港湾において全港湾の

## 関東

東京港渋滞問題に尽力を 二〇二〇オリパラで東京港周辺にはホッケー場、ボート競技場ができ、かなりの渋滞が予想され通勤や物流の停滞が危惧されている。この様な問題は後手後手ならぬ様、中央の協力をお願いしたい。返却時に掃き掃除を求められ

組織率は半数以上を占め、地方港も抱えています。もっと全港湾の主体性を反映させるために、全国港湾の規約をしっかりと整備し、全国港湾構成員の民主的運営を図る事が重要である。関西の中山さんの規約案を拝見しましたが、とても理にかなっていて素晴らしい物でした。この案を全港湾の案として全国港湾規約改正に臨むべきでは。役員選考委員会の在り方についても民主的に行う必要がある。

ホワイト物流推進について

人員不足・高齢化が進む中、ホワイト物流推進運動の取り組みが進められること（地震・津波・噴火）の付与は、トトラック業界が将来的に希望を持てる事になると思えますので、今後の運動の推進を拡大にご尽力頂きたい。

育児介護制度の取り組みについて

国の保障六七％では、正直生活は厳しいという話を聞かされたのか疑問を感じる。

未来に産別をいかにつなぐか

産別最賃問題（独禁法）問題は解決を見ず全港湾では今後の対応として中労委に対し「不当労働行為」或いは「団交は合法と認める裁判」に訴える、という二つの方法で進めると聞いている。日港協が産別最賃にこだわるなら、産別最賃を要求から外し、今後の春闘に臨めば日港協も正常な団交を阻害する理由は無くなる。未来に産別をいかにつなぐか、私たちの責務ではないか。全港湾から発信すべきである。

全国港湾規約について

全国港湾において全港湾の

る事は少なくともなくなったが、今後  
も諦めず運動していくので、  
引き続き指導をお願いします。  
検数・検定の指定事業体問題  
について

日検闘争について、日検の  
裁判での偽装請負に関する主  
張は事実を捻じ曲げた主張で  
あり、将来の検数業務の職域  
を脅かす問題となる。全国港  
湾の検査部会や検数・検定小  
委員会で解決をはかるべく運  
動の強化をお願いします。

### 関 西

産別最賃、港湾団交から切り  
離しては

産別最賃は中央港湾団交か  
ら切り離して春闘交渉を考  
えても良い時期ではないか。  
スト破りに対しては大規模な  
行動を

一九春闘のたたかいかの中  
で、二三年ぶりの平日ス  
トライキを執行したが、神戸  
のPC一八上組のスト破りが  
あった。労働組合として上組  
に対し、大規模な行動が必要  
だ。

分断に対しては団結の力でた  
たかうべき  
国家権力による分断に対し  
ては団結によってたたかわな  
くてはならない。  
内陸倉庫の実態調査を  
通過貨物について、内陸倉  
庫へ貨物の流出に未だ歯止め  
がかからない状態に不安を感  
じる。中央本部として、内陸  
倉庫の実態調査を行って欲し  
い。

独占禁止法の問題につい  
て、中央労働委員会のあつせ  
ん案は独占禁止法に抵触しない  
で申し立てを取り下げるべき  
ではなかった。日港協を不誠  
実団交として中央労働委員会  
で徹底的にたたかうべきだ。  
全国港湾、代議員数の登録人  
数割合  
全国港湾の規約について代  
議員数は中執で決定し、基礎  
ベースを変えず、登録人数割  
をすべきである。  
コンパスシステムで自動化に  
危機感  
ターミナル渋滞解消策とし  
て情報一元化のコンパスシ  
ステムがあり、シャシの共有  
化などがされるが、IT化で  
ターミナルの自動化に拍車か  
かるのではないかと危惧す  
る。  
第三者行為災害は被災者の立  
場にたつて支払い対象に  
第三者行為災害は労災保険  
の支払い対象としていない  
が、その他の保険でカバー出  
来ることから、関西では被災  
者或いは最悪の場合、遺族を  
優先とする論点から二〇一六  
年労災企業補償の改定で支払  
い対象とした経緯がある。中  
央でまとめるなら関西案を採  
用してほしい。  
中央労職対会議の復活を  
中央労職対の復活を要望  
し、全国港湾安全衛生委員会  
へ提案してほしい。  
争議分会の報告  
大阪支部での争議報告をさせ  
てほしい。樽本機工分会は、  
旗揚げ数ヶ月後に分会長が懲  
戒解雇され、会社は懲戒理由  
IR・万博誘致について、  
反対行動による取り組みをお  
こなうべきと考える。港湾に

一年前の賃改協定が破棄さ  
れ、不利益変更され、不当労  
働行為でたたかっている。  
年別別の組合費の議論を  
全港湾の加入にあたっては  
組合費の額がやはり問題とな  
る。組合員の収入にあった年  
別別の組合費の検討を引き続  
きお願いする。  
関生弾圧問題、共闘して勝ち  
抜こう  
全日建連帯関生支部への大  
弾圧は、公判が行われていま  
す。正当な労働組合活動を威  
力業務妨害、脅迫とされれば  
憲法二八条の崩壊であり労働  
組合として物言えぬ危機状態  
が迫っています。たたかう労  
働組合であるならば共闘して  
勝ち抜かなければなりません。  
辺野古闘争支援、参加しやす  
い形を

カジノをつくらせるな。  
議案書本文の精査を  
議案書の文章でかぶって  
いる箇所が多きと確認し  
てほしい。

四国  
四国の取り組み経過報告  
昨年十月に四国港湾労働組  
合協議会は四国地区港湾労使  
協議会を設立しました。一九  
春闘では労使協議会を活用し  
「六五歳までの定年延長」と  
「労災企業補償死亡・一〇三  
級について四〇〇万円」を  
獲得し、四国統一協定書を締  
結することができました。  
八月二十三日、坂出港運  
館に全国港湾玉田書記長を講  
師に招き、事前協議学習会を  
開催しました。組合員だけで  
もおおしくありません。中  
央本部としても共謀罪への対  
応策を考えてもらいたい  
です。  
選挙闘争について  
四国地本は七月の参議院比  
例区選挙について、民主党の  
吉田忠智氏を推薦することに  
取り決めました。四国だけで  
なく、全国の全港湾の仲間が  
携わったから当選できたと思  
っています。国会議員を全港  
湾の定期大会に呼ぶことによ  
って、組合員の意識や選挙に  
対する取り組みも変わると思  
いますので、中央本部として  
も戦略性を持って取り組んで  
もらいたいです。  
坂出港の雇用問題、引き続き  
支援を  
国が制定した国際戦略港湾  
により、坂出港から製造工場  
が水島港に移転し、雇用問題  
が発生する最悪の結果となっ  
ています。昨年九月二十六日  
に国土交通省港湾経済課課長  
が坂出に視察に訪れた際に、  
四国地本と意見交換を行い、  
厳しい地方港の現状を伝えま  
した。また、四国運輸局・整  
備局合同要請行動の際に、坂  
出港ニューポートプランにつ  
いて「積極的に関わってとい  
く」という回答を得られたこ  
とは労働組合と国土交通省と  
の関係性が構築された成果だ  
と感じています。中央本部と  
しても、引き続き情報共有や  
ご支援をお願いします。  
本四架橋闘争、引き続き支援  
を  
本四架橋の下で働く仲間の  
雇用・職域を守るために、今  
年度も本四高速との意見交換  
会、徳島県雇用対策等小委員  
会など、要請行動を取り組み  
ました。また、五月に初めて  
四国運輸局自動車交通部に対  
し、本四架橋の現状と政労協  
会が引き続き守るよう要請  
行動を行いました。また、中  
央本部で中央交運労協や国土  
交通省に対して、要請行動が  
あれば一緒に参加してもら  
えないでしょうか。引き続  
き、本四架橋雇用問題につ  
いて、ご支援をお願いします。

四国  
四国の取り組み経過報告  
昨年十月に四国港湾労働組  
合協議会は四国地区港湾労使  
協議会を設立しました。一九  
春闘では労使協議会を活用し  
「六五歳までの定年延長」と  
「労災企業補償死亡・一〇三  
級について四〇〇万円」を  
獲得し、四国統一協定書を締  
結することができました。  
八月二十三日、坂出港運  
館に全国港湾玉田書記長を講  
師に招き、事前協議学習会を  
開催しました。組合員だけで  
もおおしくありません。中  
央本部としても共謀罪への対  
応策を考えてもらいたい  
です。  
選挙闘争について  
四国地本は七月の参議院比  
例区選挙について、民主党の  
吉田忠智氏を推薦することに  
取り決めました。四国だけで  
なく、全国の全港湾の仲間が  
携わったから当選できたと思  
っています。国会議員を全港  
湾の定期大会に呼ぶことによ  
って、組合員の意識や選挙に  
対する取り組みも変わると思  
いますので、中央本部として  
も戦略性を持って取り組んで  
もらいたいです。  
坂出港の雇用問題、引き続き  
支援を  
国が制定した国際戦略港湾  
により、坂出港から製造工場  
が水島港に移転し、雇用問題  
が発生する最悪の結果となっ  
ています。昨年九月二十六日  
に国土交通省港湾経済課課長  
が坂出に視察に訪れた際に、  
四国地本と意見交換を行い、  
厳しい地方港の現状を伝えま  
した。また、四国運輸局・整  
備局合同要請行動の際に、坂  
出港ニューポートプランにつ  
いて「積極的に関わってとい  
く」という回答を得られたこ  
とは労働組合と国土交通省と  
の関係性が構築された成果だ  
と感じています。中央本部と  
しても、引き続き情報共有や  
ご支援をお願いします。  
本四架橋闘争、引き続き支援  
を  
本四架橋の下で働く仲間の  
雇用・職域を守るために、今  
年度も本四高速との意見交換  
会、徳島県雇用対策等小委員  
会など、要請行動を取り組み  
ました。また、五月に初めて  
四国運輸局自動車交通部に対  
し、本四架橋の現状と政労協  
会が引き続き守るよう要請  
行動を行いました。また、中  
央本部で中央交運労協や国土  
交通省に対して、要請行動が  
あれば一緒に参加してもら  
えないでしょうか。引き続  
き、本四架橋雇用問題につ  
いて、ご支援をお願いします。

玉田書記長の来賓あいさつ  
で、あつせんを取り下げ後  
「裁判訴訟」及び「不当労働  
行為救済命令申立」が提案さ  
れました。しかし、裁判及び  
労働委員会に係争し、勝った  
としても、今後の労使関係は  
良くならないと思います。二  
〇一二年十一月に制作された  
「協定書・確認書集」では三  
者（日港協・全国港湾・港運

同業）で中央港湾団交の在り  
方を記載しています。二〇春  
闘では産別最賃を切り離すよ  
うに検討してもらい、もう一  
度、中央港湾交渉の在り方を  
見直してもらいたいです。  
共謀罪への対応策を  
昨年九月から一年間で全日  
建連帯関西生コン支部の組合  
員八〇人以上が逮捕又は勾留  
されています。また、ストラ  
イキに参加していなくても、  
関与したということで逮捕さ  
れています。これは明らかに  
「共謀罪」が適応されている  
ことは間違いありません。全  
国港湾玉田書記長の来賓あい  
さつでも「港湾労働者が目障  
りである」と言われたよう  
に、全港湾が次の標的にされ  
てもおかしくありません。中  
央本部としても共謀罪への対  
応策を考えてもらいたい  
です。  
選挙闘争について  
四国地本は七月の参議院比  
例区選挙について、民主党の  
吉田忠智氏を推薦することに  
取り決めました。四国だけで  
なく、全国の全港湾の仲間が  
携わったから当選できたと思  
っています。国会議員を全港  
湾の定期大会に呼ぶことによ  
って、組合員の意識や選挙に  
対する取り組みも変わると思  
いますので、中央本部として  
も戦略性を持って取り組んで  
もらいたいです。  
坂出港の雇用問題、引き続き  
支援を  
国が制定した国際戦略港湾  
により、坂出港から製造工場  
が水島港に移転し、雇用問題  
が発生する最悪の結果となっ  
ています。昨年九月二十六日  
に国土交通省港湾経済課課長  
が坂出に視察に訪れた際に、  
四国地本と意見交換を行い、  
厳しい地方港の現状を伝えま  
した。また、四国運輸局・整  
備局合同要請行動の際に、坂  
出港ニューポートプランにつ  
いて「積極的に関わってとい  
く」という回答を得られたこ  
とは労働組合と国土交通省と  
の関係性が構築された成果だ  
と感じています。中央本部と  
しても、引き続き情報共有や  
ご支援をお願いします。  
本四架橋闘争、引き続き支援  
を  
本四架橋の下で働く仲間の  
雇用・職域を守るために、今  
年度も本四高速との意見交換  
会、徳島県雇用対策等小委員  
会など、要請行動を取り組み  
ました。また、五月に初めて  
四国運輸局自動車交通部に対  
し、本四架橋の現状と政労協  
会が引き続き守るよう要請  
行動を行いました。また、中  
央本部で中央交運労協や国土  
交通省に対して、要請行動が  
あれば一緒に参加してもら  
えないでしょうか。引き続  
き、本四架橋雇用問題につ  
いて、ご支援をお願いします。

九 州  
一九春闘、何が手のひらに乗  
ったか  
ストライキ権行使につ  
いて、伝家の宝刀であるストラ  
イキを、抜き放しの状態  
で、何が手のひらに乗ったか？  
産別最賃一回答拒否問題、  
具体的見解を  
裁判するのか、中労委に救

産別運動の重要性は重々理  
解するが、今の中央本部はど  
こを見ているのか？地方港の  
実態をもっと把握するべき。  
全国港湾内において、地方港  
をもっと知ることが、全港湾  
としての立ち位置がより強固  
なものになる。今一度初心に  
帰って全港湾を強くしてもら  
いたい。

地方港の実態、もっと把握を  
したい。

産別運動の重要性は重々理  
解するが、今の中央本部はど  
こを見ているのか？地方港の  
実態をもっと把握するべき。  
全国港湾内において、地方港  
をもっと知ることが、全港湾  
としての立ち位置がより強固  
なものになる。今一度初心に  
帰って全港湾を強くしてもら  
いたい。

産別運動の重要性は重々理  
解するが、今の中央本部はど  
こを見ているのか？地方港の  
実態をもっと把握するべき。  
全国港湾内において、地方港  
をもっと知ることが、全港湾  
としての立ち位置がより強固  
なものになる。今一度初心に  
帰って全港湾を強くしてもら  
いたい。

産別運動の重要性は重々理  
解するが、今の中央本部はど  
こを見ているのか？地方港の  
実態をもっと把握するべき。  
全国港湾内において、地方港  
をもっと知ることが、全港湾  
としての立ち位置がより強固  
なものになる。今一度初心に  
帰って全港湾を強くしてもら  
いたい。

産別運動の重要性は重々理  
解するが、今の中央本部はど  
こを見ているのか？地方港の  
実態をもっと把握するべき。  
全国港湾内において、地方港  
をもっと知ることが、全港湾  
としての立ち位置がより強固  
なものになる。今一度初心に  
帰って全港湾を強くしてもら  
いたい。

産別運動の重要性は重々理  
解するが、今の中央本部はど  
こを見ているのか？地方港の  
実態をもっと把握するべき。  
全国港湾内において、地方港  
をもっと知ることが、全港湾  
としての立ち位置がより強固  
なものになる。今一度初心に  
帰って全港湾を強くしてもら  
いたい。

産別運動の重要性は重々理  
解するが、今の中央本部はど  
こを見ているのか？地方港の  
実態をもっと把握するべき。  
全国港湾内において、地方港  
をもっと知ることが、全港湾  
としての立ち位置がより強固  
なものになる。今一度初心に  
帰って全港湾を強くしてもら  
いたい。

産別運動の重要性は重々理  
解するが、今の中央本部はど  
こを見ているのか？地方港の  
実態をもっと把握するべき。  
全国港湾内において、地方港  
をもっと知ることが、全港湾  
としての立ち位置がより強固  
なものになる。今一度初心に  
帰って全港湾を強くしてもら  
いたい。

産別運動の重要性は重々理  
解するが、今の中央本部はど  
こを見ているのか？地方港の  
実態をもっと把握するべき。  
全国港湾内において、地方港  
をもっと知ることが、全港湾  
としての立ち位置がより強固  
なものになる。今一度初心に  
帰って全港湾を強くしてもら  
いたい。

産別運動の重要性は重々理  
解するが、今の中央本部はど  
こを見ているのか？地方港の  
実態をもっと把握するべき。  
全国港湾内において、地方港  
をもっと知ることが、全港湾  
としての立ち位置がより強固  
なものになる。今一度初心に  
帰って全港湾を強くしてもら  
いたい。

産別運動の重要性は重々理  
解するが、今の中央本部はど  
こを見ているのか？地方港の  
実態をもっと把握するべき。  
全国港湾内において、地方港  
をもっと知ることが、全港湾  
としての立ち位置がより強固  
なものになる。今一度初心に  
帰って全港湾を強くしてもら  
いたい。

産別運動の重要性は重々理  
解するが、今の中央本部はど  
こを見ているのか？地方港の  
実態をもっと把握するべき。  
全国港湾内において、地方港  
をもっと知ることが、全港湾  
としての立ち位置がより強固  
なものになる。今一度初心に  
帰って全港湾を強くしてもら  
いたい。

産別運動の重要性は重々理  
解するが、今の中央本部はど  
こを見ているのか？地方港の  
実態をもっと把握するべき。  
全国港湾内において、地方港  
をもっと知ることが、全港湾  
としての立ち位置がより強固  
なものになる。今一度初心に  
帰って全港湾を強くしてもら  
いたい。



# 九月五日、急遽、中央港湾団交開催される

九月五日、放射線量検査の問題とRTG遠隔操作化導入問題とRTG遠隔操作化導入補助(港湾機能高度化施設整備事業)の問題、及び「はくおう」の臨時寄港問題、関連専門の労働環境整備の問題で、急遽、中央港湾団交が開催された。

「労働者の健康対策として十分理解している。口頭で対応していききたい」とした。これに対し組合側より「暫定確認書はまだ生きていない。将来の魅力ある港湾を考へていく」と確認を促す。東電からの補償がある間は、という条件付きながらも暫定確認書は生きていると業側は述べた。そのため、組合側より改めて、労働者の安全と健康を守るため、二〇二一年の暫定確認書に従い検査体制を維持するよう改めて強く求めた。放射線量検査について今までの通りの検査の継続を強く求めた。そして、引き続き四検で検査対応にあたることに異論は出されなかった。

RTG遠隔操作化導入補助(港湾機能高度化施設整備事業)の問題 RTG遠隔操作化導入補助の問題については、五月十六日付申し入れにおいて、公募に応じないよう業側に強く申し入れていたところであった。また、国交省も導入補助の検討にあたっては労使で協議し合意する必要があると認識していたところであったが、労使合意がないまま、名古屋港のNUCTにおいて導入補助が決定されたため、組合側より中央港湾団交の開催を求めるに至った点を説明した。



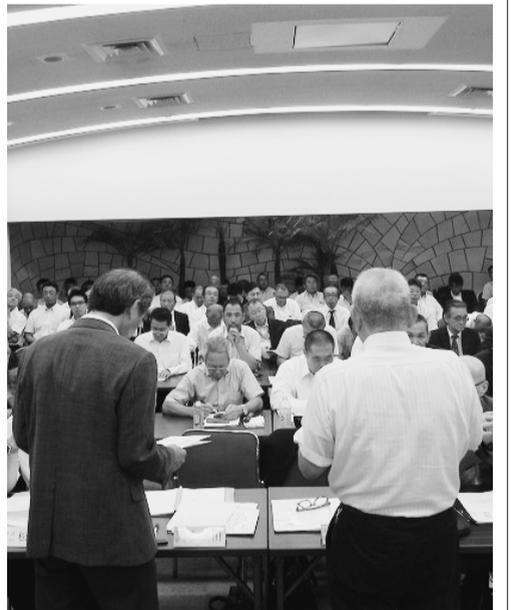
業側は「我々は自動化というより人間が作業する遠隔操作の作業と捉えている。波及分理解している。口頭で対応していききたい」とした。これに対し組合側より「暫定確認書はまだ生きていない。将来の魅力ある港湾を考へていく」と確認を促す。東電からの補償がある間は、という条件付きながらも暫定確認書は生きていると業側は述べた。そのため、組合側より改めて、労働者の安全と健康を守るため、二〇二一年の暫定確認書に従い検査体制を維持するよう改めて強く求めた。放射線量検査について今までの通りの検査の継続を強く求めた。そして、引き続き四検で検査対応にあたることに異論は出されなかった。

「はくおう」臨時寄港問題 事前協議違反で問題となっていた「はくおう」が釧路港に臨時寄港するとの情報が入ったため、業側に経緯詳細を報告するよう組合側より求めた。

この件について業側はある「ゆたか SHIPPING」の運行会社であり、九月中旬、高知―釧路間

## 告知板

- 東北地方本部 八月二十九日
  - 執行委員長 新妻秀樹、副執行委員長 二本柳英樹、書記 矢代正人、財政部長 吉田一夫、執行委員 荒谷祐多、鈴木紀彦、土田弘好、永洞光雄、長南安典、高木伸司、大門智、会計監査委員 阿蘇誠、武田晴喜
- 日本海地方本部 九月七日
  - 地方執行委員長 鈴木龍一、地方副執行委員長 法土豊行、面谷真奈樹、地方書記長 山賀茂、常任地方執行委員 長谷川貢、杉田恒、青山康治、茶畑芳郎、北村司、森口一男、地方会計監査委員 中尾哲、山田明彦、特別執行委員 真島勝重
- 日本海地方直江津支部 八月二十三日
  - 執行委員長 杉田恒、副執行委員長 和久井好一、書記長 大島哲雄、執行委員 布施光広、浮塚元彦、稲井太一、会計監査委員 八幡一也、小林泰栄 青年部長 渡辺敬介
- 日本海地方敦賀支部 八月十八日
  - 執行委員長 北村司、副執行委員長 藤田和憲、書記長 山田明彦、執行委員 山田恭史、坪谷徹、橋詰智章、藤田康弘、辻弘成、鈴木翔太、松田大、前川聡史、会計監査委員 岡野翔、岡本和也
- 東海地方本部(五支部) 九月四日
  - 執行委員長 鈴木勝也、副執行委員長 千頭和達也、畠中商博、地方書記長 大野裕康、地方執行委員 木村幸嗣、竹内栄広、榊原崇、六藤員 岡野翔、岡本和也
- 東海地方清水支部 八月十八日
  - 執行委員長 鈴木勝也、副執行委員長 宮原弘樹、内田剛、北村亨、書記長 竹内栄久、書記 石橋由美
- 四国地方本部 九月一日
  - 執行委員長 橋崎正伸、副執行委員長 竹森将一、書記長 元木啓次、執行委員 伊達健太、沖隆弘、中土井寛、菅剛正、明星英治、壬生知精、会計監査委員 糸川智也、北島春樹



も今後対応していきたいとの話があった」と述べた。これに対し組合側より「沖縄の件については何らかの謝罪が必要」と改めて迫った。また、「ゆたか SHIPPING」が運行する別船に「ナッツチャンネル」があるが、七月、八月に苦小牧港に入っていたが通知等が全くなかった点を組合側より指摘、「ナッツチャンネル」についても「はくおう」同様に対応するよう業側に要請した。

### 共同デスクー同

伊藤 勇武	(北海道)
大門 智	(東北)
北村 司	(日本海)
河西 通雄	(関東)
畠中 商博	(東海)
鈴木 大介	(関西)
明星 英治	(四国)
津々見英一	(九州)
金城 正博	(沖縄)
片柳 悦正	(本部)

る、副執行委員長 武口義人、書記長 原田雄司、執行委員 佐野正弘、八塚一真、原田和彦、会計監査委員 山裕彦、山本浩也